

ゲンティン・シンガポール (GENS)

「RWS 戦略 2.0」による富裕層向けプレミアムブランドを訴求。ESG の格付けで BBB から AA へ大幅格上げ
 シンガポール | カジノ・ゲーミング | 業績フォロー

フィリップ証券株式会社

BLOOMBERG GENS:SP | REUTERS GENS.SI

- 2024/12期3Q (7-9月) は、売上高が前年同期比18.5%減、調整後EBITDAが同52.5%減。ローリングチップの減少とウィンレート低下が響いた。
- 「RWS戦略2.0」で富裕層向けプレミアムブランドを訴求。ウォーターフロントのホテル建設着工やミニオンランドのオープン準備が進む。
- 格付け機関MSCI ESGレーティングが同社を「BBB」から、2番目に高い「AA」に格上げ。ESGに関するリーディング企業へ躍進している。

What is the news?

11/7発表の2024/12期3Q (7-9月) の業績報告は、売上高が前年同期比18.5%減の5.61億SGD、為替変動その他の一時的要因の影響を除く調整後EBITDAが同52.5%減の1.63億SGD、純利益が同63.3%減の79.4百万SGD。主にゲーミング部門において、カジノにおけるVIPエリア (高額賭け金の上顧客エリア) 向けのローリングチップ (当該エリアのルームでしか使えず、自由に現金交換できないデッドチップ) の取引減少、およびウィンレート (業者ハウス側の収益となるレート) の低下が響いた。その一方で、非ゲーム部門は、著名ブランドのハードロック・ホテルが改修のため閉鎖されたことや、水族館のシー・アクアリウムが拡張のため週当たり2日間の休業だったにもかかわらず、季節要因から底堅く推移した。

3Qの主なセグメント別の売上高は、①カジノなどゲーミング部門が前年同期比28%減の3.30億SGD、②ホテル宿泊部屋事業、アトラクション事業などを含む非ゲーミング部門は、同1%増の2.31億SGDだった。

How do we view this?

同社はウォーターフロント開発の建設契約に関し、年内予定としていたホテル新設工事の着工を11月に実行した。観光地セントーサ島の入り口に、計700室のホテル2軒が加わることになる。IR (統合リゾート) の収益の柱であるカジノ部分も拡大を進め、500平方メートルの増床が認められた。政府が2019年に認可した拡張計画は、新型コロナウイルス禍で実施が遅れ、投資額が「2019年時点45億SGD」から、コロナ後のインフレで68億SGDと5割増えたものの、同社は超富裕層向けへの高級プレミアムブランドを訴求する「RWS (リゾート・ワールド・セントーサ) 戦略 2.0」で対応している。「RWS戦略2.0」には、ユニバーサル・スタジオ・シンガポールにおける新テーマゾーンである「イルミネーション」で「ミニオンランド」の2025年1-3月期までのオープンも含まれている。

また、環境・社会・ガバナンス (ESG) に関する格付け機関のMSCI ESGレーティングが10/25付で発表の最新レポートで、同社を「BBB」から、2番目に高い「AA」に格上げ。これは、同社が脱炭素、製品の安全性と品質、コーポレート・ガバナンスへの対応における強力な経営体制を含め、ESGで業界をリードする企業であると位置付けていることの表れだ。

業績推移

※参考レート 1SGD=115.24円

事業年度	2021/12	2022/12	2023/12	2024/12F	2025/12F
売上高(百万SGD)	1,067	1,725	2,417	2,575	2,784
当期利益(百万SGD)	183	340	611	608	684
EPS(SGD)	0.02	0.03	0.05	0.05	0.06
PER(倍)	34.85	29.33	19.08	15.29	13.68
BPS(SGD)	0.65	0.66	0.68	0.69	0.71
PBR(倍)	1.07	1.33	1.40	1.13	1.10
配当(SGD)	0.01	0.02	0.04	0.04	0.04
配当利回り(%)	1.43	2.27	4.19	5.13	5.13

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

 配当予想 (SGD) **0.00** (予想はBloomberg)
 終値 (SGD) **0.780** 2024/11/11

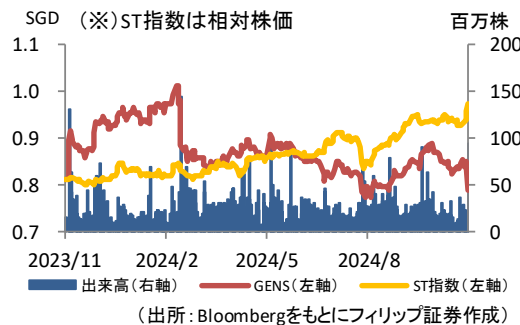
会社概要

マレーシアの実業家・富豪であるリム・ゴートンが設立したコングロメイトのゲンティン社を親会社とする。1984年にマン島で設立後、2005年にシンガポール取引所に上場。2018年に英国マン島からシンガポールに住所を移転した。30年以上にわたり、オーストラリア、バハマ、マレーシア、フィリピン、シンガポール、英国で、カジノ(ゲーム)および統合リゾート(Integrated Resort: IR)の開発を手掛けてきた。

2010年にシンガポールの一大観光地セントーサ島にファミリー向けトロピカルリゾートとして開発した「リゾート・ワールド・セントーサ」は、ユニバーサルスタジオ・シンガポールやS.E.A水族館をはじめとする世界屈指のエンタテインメント施設であり、東南アジアで最大クラスの統合リゾートである。シンガポール初となるカジノのほか、6つのホテル、博物館といった様々なリゾート施設・設備が一堂に集まっている。

企業データ (2024/11/12)

ベータ値	0.60
時価総額(百万SGD)	9,477
企業価値=EV(百万SGD)	5,817
3ヵ月平均売買代金(百万SGD)	24.2



主要株主 (2024/11) (%)

1.ゲンティン	52.63
2.VANGUARD GROUP	1.88
3.ブ ラックロック	1.66

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

リサーチ部

 笹木 和弘
 kazuhito.sasaki@phillip.co.jp
 +81 3 3666 6980

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会認定アナリスト、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得る場合があります。当資料に記載されている内容は投資判断の参考としてレポートの作成者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害について、フィリップ証券も、本レポートの作成者も、責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載することを禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則（平14.1.25）」に基づく表示>

・フィリップ証券または本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。